



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.687 2023.7.19

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

区議会企画総務委員会にパブリックコメントの結果を報告

北区基本構想 策定へ

北区は第3回定例会で、区の最上位計画であり、20年後の北区の将来像を示す新しい北区基本構想を議決する予定です。19日の企画総務委員会に、この間実施されたパブリックコメントの結果が報告されました。(のの山けん)

約1カ月の募集期間に寄せられた意見は、34人から98件。対面とWebで3回開かれた区民意見交換会には、のべ39人が参加しました。

総論的、理念的になりやすい基本構想の性格上、「北区らしさが伝わらない」などの意見もある中、私は、北区の特色を出すべき項目として、2点を指摘しました。

身の丈にあったまちづくりを

一つは、大型開発中心ではなく、身の丈に合ったまちづくりに重点を置くことです。

区民からは、「再開発で古き良き文化が失われるのではないか」、「人間

の経済活動優先ではなく、自然と共生できるまちづくりに」などの意見が寄せられました。区民ワークショップでもスローガンに上げられた「タワマンなしで程よく発展」をめざすべきです。

平和都市の歴史構想に明記を

いま一つは、北区が軍都から平和都市へと発展してきた歴史を基本構想にも明記することです。

区民からは「平和を高らかに謳いあげよ」、「先の戦争について振り返り学ぶことが大切」などの意見が寄せられており、「平和一般」で済まない記述にすることが必要だと提言しました。

福島原発 放射能汚染水 海へ流すな

17日、猛暑となった赤羽駅西口で、放射能汚染水放出に反対する北区の会が「海の日アクション」を実施。私もリレートークに参加し、岸田政権がこの夏にも、福島第一原発から出た放射能汚染水を海に放出しようとしていることを厳しく批判しました。(のの山けん)



第1回策定検討会開く

市街地再開発区域・赤羽小学校敷地を「重点区域」に指定

今年度から2か年で策定する赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画の第1回策定検討会が18日、北とぴあで開かれました。

区長が任命した委員は、学識経験者、地元関係団体代表、区職員など20名。会長、副会長選出の後、議事に移り、事務局である区まちづくり推進課から、①基本計画策定の目的と対象区域の設定、②上位計画及び関連計画、③現状分析、④課題解決のためのミッション、が報告され、質疑が行われました。

「重点区域」と「周辺区域」

基本計画が対象とする区域については、駅前の3つの市街地再開発区域（第一・第二・

第三地区）と赤羽小学校敷地を「重点区域」とし、重点区域の事業との連携や波及効果を期待する区域（赤羽岩淵駅、赤羽台周辺地区、赤羽公園・赤羽会館など）を「周辺区域」と位置づけています（地図参照）。第二地区準備組合からは北区に対し、赤羽小学校敷地と一体的な土地利用で再開発を行いたいとの要

周辺公共施設を再編・更新

請が出されています。区域内にある赤羽小、赤羽公園、赤羽会館は、いずれも老朽化に伴い更新が必要とされています。今後、検討会では、その配置を含めて再編・更新のあり方が議論されることとなります。

（のの山けん）



来年3月までに 検討会中間報告を策定

赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会は、10月2日に第2回、11月上旬に第3回の検討会開催を予定。その後、第4回検討会を受けて、来年3月までを目安に基本計画の中間報告をまとめる予定です。検討会を傍聴する際は、事前予約が必要になりますので、北区ニュースなどでご確認下さい。（のの山けん）

赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会 今後の予定

第2回検討会（10月2日）

第3回検討会（11月上旬）

第4回検討会（未定）

検討会中間報告（来年3月までを目安）